

第6回 特別講演会

豊田の“海”とアンモナイトの世界

講師：中田 健太郎氏（所属：新潟大学大学院自然科学研究科）

山口県下関市豊田町には、豊浦層群とよばれる地層が分布しています。この地層は、ジュラ紀という時代に堆積した泥や砂が長い年月をかけて固まってできました。古くから日本有数のジュラ紀前期（約1億8000万年前）のアンモナイト化石の産地として、研究者や化石愛好家の間では広く知られています。

アンモナイトは、恐竜などとともに、最も人気のある化石のひとつですが、そのうずまき状の殻の形から、しばしば巻貝の仲間と間違われるなど、どのような生き物であったかについてはあまり知られていません。今回は、これまでの研究からわかった新事実（食べ物、生殖など）を通して、アンモナイトがどのような生き物であったか解き明かしていきます。また、豊浦層群のアンモナイト化石に関する最新の研究結果を紹介します。

海で暮らしていた生き物であるアンモナイトの化石が産出する豊田町は、約1億8000万年前には海の中だったこととなります。この頃の地球は、温暖化が進む現在よりはるかに暖かく、海の中は酸素がほとんど存在しない環境だったと考えられています。世界中の研究者が、温暖化の結果とも考えられるこの環境の解明に取り組んでいますが、豊田町は、日本でこのような研究ができる数少ない場所としても重要視されています。そこで、これまでわかっている過去の温暖化地球の姿をもとに、温暖化する地球の海の未来の姿についても迫りたいと思います。

・開催日時：平成20年10月26日（日）10：00～11：30

・場 所：豊田ホタルの里ミュージアム 多目的ホール

・受講料：無 料

・申し込み：電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。

豊田ホタルの里ミュージアム

電話：083-767-0350 FAX：083-767-0355

E-mail：kittsomu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

※FAXでお申し込みの方は下記フォームにご記入いただき、このままFAXしてください。

・申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます。

・定 員：50名

豊田ホタルの里ミュージアム 行

FAX：083-767-0355

第6回「豊田ホタルの里ミュージアム特別講演会」参加申込書

(ふりがな)
氏 名

(ふりがな)
住 所 (〒 -)

電 話 - -